



新毎日

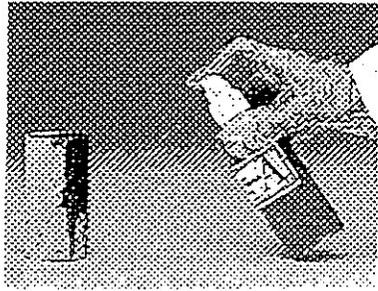
夕刊

発行所: 大阪市北区梅田3丁目4番5号 〒530-9251 電話 (06)6345-1531
毎日新聞大阪本社 編集センター 06-6320-0450
心斎橋本社 06-6320-1399

コンクリ劣化をスプレー診断

オザサ 「薄黄色は危険」など発色、色消しも

JR新幹線のコンクリートは、落事故で、改めてコンクリートの劣化が話題。建設会社などに診断の問い



ど、スプレーすれば色の変化で劣化の程度が分かる薬液と、その色を消す試薬「データリオテストA、B」の写真をセットで発売した。

コンクリートの主成分は水酸化カルシウム。空気中の炭酸ガスと反応して炭酸カルシウムになり、中性化して内部まで水を染みさせて鉄筋を腐食させたりはく落の原因になる。薬液Aはコンクリートのアルカリ度を判定するもので、スプレーすれば健全なもので紫色、軽い劣化で青、要注意で薄緑、危険状態で薄黄色になる。さらにB液を噴霧すればその色が消せる。約100カ所の診断が出来るセットで希望小売価格は1万2000円。問い合わせは同社(06)63093027。